# ブルームバーグでご利用可能なESGスコア

投資家が企業の開示情報とパフォーマンスを評価し、同業他社との比較で企業活動を評価する際に役立つさまざまなESGスコアについても、ブルームバーグは独自およびサードパーティによるスコアを単一のプラットフォームにて提供しています。

ブルームバーグ独自のESGスコアはすべて企業のデータに基づいており、完全な透明性を保っているため、ユーザーはスコアリング方法と各スコアの基礎となる企業報告データの両方を調べることができます。

ブルームバーグ独自のESGスコアの詳細は下記の表1をご覧下さい。また、ブルームバーグターミナルでご利用可能なサード・パーティ提供のスコアの一覧につきましては、表2をご覧ください。

### 表1: ブルームバーグ独自のESGスコア

| スコア名 | カバレッジ | スコア詳細 | 算出開始年 |
|---|---|---|---|
| ブルームバーグESG開示スコア | 日本約2200社<br>グローバル<br>約1万5000社 | • 企業の環境・社会・ガバナンスデータの開示量を100点満点に換算したブルームバーグ独自スコア。国際的なデータ開示の枠組を参照し、ブルームバーグが独自にマテリアリティ項目を抽出し、それらの項目に対してどの程度開示量があるかを定量的にスコア化している。<br>• 各データ項目は、データの重要度に応じて加重され、例えば$CO_2$排出量は他の温室効果ガスの開示項目よりも大きな比重がかけられる。<br>• カバレッジ対象外の企業や情報開示のない企業には「N/A」が表示される。 | 2006年 |
| ブルームバーグESスコア | 約6000社 | • 企業の環境および社会的パフォーマンスを、企業の開示データに基づいてセクターごとに異なる指標で10点満点で測定。<br>• 投資家は気候変動や安全衛生など、財務的に重要な事業に関連する業界特有の重要課題に関連するパフォーマンスを迅速に評価し、業界の競合他社と比較して企業活動を相対的に評価するために当該スコアを利用できる。 | 2015年 |
| ブルームバーグ取締役会構成スコア | 約6000社 | • 企業の取締役会における多様性、在職期間、社外取締役職兼務状況、独立性の4つの主要な重点分野で、企業の相対的なパフォーマンスをを10点満点で測定。現在の取締役会構成における潜在的なリスクを評価することができる。<br>• この定量モデルは、ブルームバーグ・インテリジェンスチームの専門家によって設計され、企業が開示するガバナンスデータに基づいて算出されている。 | 2015年 |
| カーボン・インテンシティスコア | 約5万社 | • 各企業の売上およびEVIC当りGHG排出量に基づき10点満点で評価。<br>• 企業がGHG排出量を開示していない場合、ブルームバーグのGHG推計値を用いてスコアを算出。<br>• スコア算出の際は、GHG排出量における規模の経済を考慮し、売上やEVICの規模によって調整される。 | 2020年 |
| トランジションスコア | 石油＆ガスセクターの39社 | • 大手石油・ガス企業39社を対象に、低炭素社会に向けた準備状況を10点満点で評価。<br>• 当該スコアの特徴としては、業界特化型である、データドリブンで透明性が高い、競合企業との相対評価である、将来を見据えているという点が挙げられる。<br>• これにより企業は、自社の業界に特化した比較データを用いて、移行に向けた準備状況を相対的に評価することができる。<br>• また、投資家は企業の現在の取り組みと計画の両方をもとに各社を評価し、理解することができる。 | 2020年 |

Bloomberg

| スコア名 | カバレッジ | スコア詳細 | 算出開始年 |
|---|---|---|---|
| ブルームバーグGEIスコア | 418社 | • ブルームバーグ男女平等指数 (GEI) の構成銘柄に対し、5つの観点 (女性のリーダーシップと人材確保、同一賃金と賃金のジェンダー平等、インクルーシブな文化、セクシャルハラスメントに関する方針、女性志向のブランド) からジェンダー平等を評価。<br>• 2022年のGEIにおいては、54ヵ国・地域から男女平等の推進に取り組む上場企業418社が同指数の構成企業として選ばれ、2021年の44ヵ国・地域から選出された380社と比べて増加。ジェンダー平等に関して従来以上に高い基準を設けたが、データを開示した企業数は過去最高となり、開示された情報の質はさらに向上した。<br>• GEIは、上場企業のジェンダー平等に向けた取り組みや方針の透明性を高め、投資家向けのESG関連データの拡充を推進する。企業にとって、ジェンダー平等に対するコミットメントの表明が極めて重要とみられる今日において、GEI指数構成企業はソーシャルデータに関する、より透明性が高い報告や情報開示の模範を示している。 | 2016年 |
| 国別気候リスク・スコア | 149ヶ国・地域 | • 世界149ヶ国・地域に対して、気候リスクの観点から10点満点で評価。パリ協定に向けて世界の国々が脱炭素やネットゼロに関する指針を発表する中、国別気候リスク・スコアは「炭素」「エネルギー」「政策」における移行リスクに基づき、各国を評価している。<br>• 「炭素移行スコア」：国・地域レベルで過去・現在・将来におけるCO2排出量を測定し、変化のトレンドや炭素強度、排出削減目標に対する進捗などを基に0~10点満点で評価。<br>• 「エネルギー移行スコア」：各国のエネルギーセクターにおける脱炭素への取り組みや将来の施策を考慮し、化石燃料の使用量や再エネの導入量、化石燃料と比較したクリーンエネルギーへの将来投資や発電設備容量などを基に0~10点満点で評価。<br>• 「気候政策スコア」：国・地域のネットゼロの指針に対する進捗、ブルームバーグNEFの分析を参考にしたグリーン債の発行額や再エネ方針枠組などを基に0~10点満点で評価。 | |

## 表2：サード・パーティ提供のESGスコア

| スコア名 | 提供社 | カバレッジ | スコア詳細 | 算出開始年 |
|---|---|---|---|---|
| MSCI ESGレーティング | MSCI | MSCI ACWI indexの構成銘柄(約3000企業) | MSCI ESG格付けは、機関投資家がESG(環境、社会、ガバナンス)のリスクと機会を特定するのに役立つように設計されている。企業は、業界固有のESGリスクに対するエクスポージャーと、同業他社と比較した当該リスクに対する管理能力に応じて、「AAA」から「CCC」の尺度で格付けされる。 | 2017年 |
| サステナリティクス・リスクレーティング | Sustainalytics | 約5000企業 | 機関投資家が財務的に重要（マテリアル）なESG リスクを個別銘柄/ポートフォリオレベルで特定・理解することを支援するために設計された。異業種間での比較を可能とする絶対値スコアに基づくレーティングを採用したことで、機関投資家による多様なESG評価ニーズ (ESG Integration, Best-in-Class Analysis, Screening & Benchmarking, Thematic Investing, Engagement & Voting) に対応することを実現している。 | 2021年 |
| S&Pグローバル ESGランク | S&P Global | 約5100企業 | 企業サステナビリティ評価を基に、トータル・サステナビリティ・スコアから変換されたトータル・サステナビリティ百分位ランキング。企業のトータル・サステナビリティスコアは、全質問のスコアの合計で、0から100までの範囲で示される。このトータル・サステナビリティスコアは個々の質問に基づき、経済、環境、および社会、3つの側面の基準に取り込まれる。個々の質問と基準のタイプとウエートは、業種ごとに特定の質問に調整され、各業種内で固有のサステナビリティテーマに反映される。トータル・サステナビリティスコアは以下のように定義される：<br>トータル・サステナビリティスコア＝（質問獲得ポイント数×質問比重×評価基準比重） | 2016年 |
| ISSクオリティ・スコア | ISS | 約7100企業 | 企業のコーポレートガバナンス体制について「取締役会の構成」「役員報酬制度」「利益還元」等を勘案し付与されたスコア。 | 2013年 |
| CDP総合パフォーマンススコア | CDP | 約2240企業 | 気候変動の緩和策・適応策および透明性に対する企業のコミットメント・レベルを返す。スコアは、CDPが評価するのに十分なデータが開示されている企業を対象に算出される。*CDPによる企業評価算出法の変更に伴い、2014年以前のスコアはCDP気候変動パフォーマンススコア(ES634,CDP_PERFORMANCE_SCORE)を参照。 | 2015年* |

**Take the next step.**

詳細につきましては、ブルームバーグターミナルで<HELP>キーを２度押してお問い合わせください。


**北京** +86 10 6649 7500
**ドバイ** +971 4 364 1000
**フランクフルト** +49 69 9204 1210
**香港** +852 2977 6000
**ロンドン** +44 20 7330 7500
**ムンバイ** +91 22 6120 3600
**ニューヨーク** +1 212 318 2000
**サンフランシスコ** +1 415 912 2960
**サンパウロ** +55 11 2395 9000
**シンガポール** +65 6212 1000
**シドニー** +61 2 9777 8600
**東京** +81 3 4565 8900




本資料に含まれるデータは情報提供のみを目的としています。©2022 ブルームバーグLP. 無断複写・複製・転載を禁じます。1335103 1021